



鎌倉市議会議員  
千 せん

はじめ

「千一と介護・福祉・

バリアフリーを考える会」

会報 2009年 春号

千 一 (せん はじめ)

鎌倉市扇ガ谷在住。鎌倉市議会議員二選。

神奈川大学経済学科卒業。

全身強いアテトーゼ（不随意運動・凝縮）を持った出生時から重度の脳性麻痺により、手足、言語に障害を持つ。自由に動く左足指で、文字を書き、音声キーボードをたたいてコミュニケーションをとる。

「横浜市脳性麻痺者協会」副会長をつとめた。

障害者の「グループホーム」の運営に携わってきた。

鎌倉の介護・福祉・バリアフリー充実、前進のために

只今、奮闘中 !!



<連絡先>

おうぎがやっ

〒248-0011 鎌倉市扇ガ谷4-27-7

電話 0467(61)2031

FAX 0467(61)2032

E-mail [senhaji@kamakuranet.ne.jp](mailto:senhaji@kamakuranet.ne.jp)

URL <http://www.senhajime.jp/>

\* お問い合わせ先 : TEL 0467-31-6565<森木>

千 一 はこう考えています!!

1. 高齢の方も障害のある方も住みよい地域社会をつくりま
2. ハンディを持った方の意見が反映される社会をともにつくりま
3. 「心のバリアフリー」こそがよりよい社会をつくりま
4. 社会保障を充実したものに改善していきま
5. 誰もが移動しやすい交通政策の実現」を目指しま
6. 安全で、のびのびと、個性的な子供を育てられる社会の確立こそ、私たちの将来をつくりま

そういう社会が、誰もが住みよい社会なのだ、私は、思います。

千 一 は、これまで「一般質問」などを通じて、主に、次のようなことを行ってきました。

皆さんのご協力のおかげです。  
これからも がんばります!

— <1> —

災害時の要介護者に対する介護人の確保について結ばれた足利市との協定。災害時には介護者も介護が必要になる可能性もあるわけです。近隣の市でも同

様に思われます。そこで、姉妹都市「足利市」、「上田市」、「萩市」との相互協定によりお互いが介護者を派遣しあえるようにしたいと提案し続けました。

足利市とは2007年(平成19年)7月30日に相互協定が結ばれました。上田市とも2008年度中に結ばれる予定です。萩市とも交渉中です。

これは、全国初の試みです。ぜひ、三市ともに協定を結びたく努力しております。

— <2> —

障害者だけの世帯、高齢者だけの世帯における「火災の安全確認」を3ヶ月に1度するようになりました。

— <3> —

国による「障害者自立支援法」ができ、それによって障害者の自己負担が大きく増え、それで困難を強いられる障害児者の声が多くありました。

そこで、鎌倉市の助成を提案し、実現しました。その後、国による改善が後からついてきました。

